

三沢さとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

館山港の多目的棧橋

外国船籍のクルーズ船誘致も!

12月議会の壇上立つ三沢県議



12月県議会一般質問に登壇

館山市選出で自民党の三沢智(みさわ・さとし)県議は、12月県議会の一般質問に登壇し、館山港の多目的棧橋の有効活用について取り上げ、外国船籍の外航クルーズ船の誘致に伴う地域経済の振興策を要望しました。森田知事も、これ応じて「多目的棧橋の利用状況は、9月までの9月間で約2万人」に上ったことを明らかにしました。また、三沢議員がかねてから提案している公共事業の施工時期の平準化では、地域の建設業の厳しい経営状況を県政にしっかりと伝え、災害時などで地域社会に貢献する建設業は「地域の守り手」などと訴えました。その他の問題と合わせ、館山市特集をお届けします。

利用客は9カ月で2万人 さらなる機能拡充を要望!

棧橋の利用状況

三沢議員 はじめに、館山港の多目的棧橋の有効活用について伺います。多目的棧橋の利用状況はどうか。

森田知事 平成30年の利用状況は、9月28日に約400名のツアー客を乗せたクルーズ船が寄港したのをはじめ、高速ジェット船の季節運航、港内をめぐる海中遊覧船など、9月までの9カ月間で約2万人の方にご利用いただいています。

また、2基目の小型船係留施設の整備により、プレ

館山市のシンボル

三沢議員 外航クルーズ船誘致に向け、県はどのように取り組んでいるのか。

森田知事 館山市では、多目的棧橋の利用を促進し、地域経済の活性化を図るため、昨年8月に外航クルーズ船の誘致計画を策定し、外国船籍クルーズ船の誘致に取り組んでいます。

県では、館山市が誘致の対象とする外国船籍クルーズ船の着岸の可能性について検討するとともに、寄港実績を持つ管理者へのヒアリング調査や寄港地の状況調査

市内漁協の合併

三沢議員 館山市内の漁協合併の進捗状況はどうか。

農林水産部長 5つある館山市内の漁協は、組合員の高齢化や漁獲高の減少など経営環境が厳しさを増す中、将来に向けた経営基盤強化のため、平成25年に合併に向けた検討を始めた。

このうち、館山船形、館山市相浜、館山市布良の3つの漁協が先行して協議を進めています。

養殖試験に取組み

三沢議員 本年度のハバノリ養殖試験の取り組み状況はどうか。

農林水産部長 ハバノリは、本県の食文化を支える食材の一つであり、その養殖は安定的な生産が見込まれ、餌代や人件費などの経費も抑えられことから、漁業者の所得向上策として有効と考えています。

このため県では、今年度から養殖試験に必要な網やロープ等の購入費に対する助成事業を開始したところであり、鋸南町勝山漁協と岩井富浦漁港では、この事

ていただいた観光客の皆さまに喜んでいただくため、利用しやすい棧橋となるよう、機能拡充に向けて取り組んでいただくことを要望します。館山市、安房地域のシンボルとなると思っていますので、よろしくお願います。

ハバノリ養殖に支援を

進め、本年10月20日に各漁協の総会において合併が承認され、現在、来年1月の新たな漁協の設立を目指し、合併認可申請の準備を進めているところです。

県では新たな漁協の設立に向けた指導を行うとともに、引き続き館山市や関係団体と連携しながら、館山市内の漁協の組織再編に向けた取り組みを支援してまいります。

今後は、漁協と協働し、生育状況等の調査や養殖の事業化に向けた市場調査などに取り組んで参ります。

ハバノリの養殖は、漁業者の期待も高いことから、1日でも早く事業化されるよう、地元漁協への積極的な支援をお願いしたい。また、現在は、養殖を行っていない外房地域の漁協でも取り組みが進められるよう、技術の普及を図っていただきたい。

新たなクルーズ船の誘致に向け、船社の注目するおもてなしができれば、そして何よも、来

ハバノリ養殖に支援を

建設業界は「地域の守り手」

施工時期平準化に向け指摘

三沢議員 公共事業の施工時期平準化については、これまで質問してきましたが、依然として地元建設業者からは、厳しい経営状況などの声を耳にします。

災害対応、災害復旧など、県民生活の安全・安心を担っている建設業界が「地域の守り手」としての役割を今後も果たしていくためには、適正工期を確保し、長時間労働の是正や週休2日などの働き方改革を進め、魅力ある職業として将来の担い手を確保していく必要があります。

そこで質問します。施工時期の平準化に向けて、県土整備部の状況はどうか。

県土整備部長 県土整備部における工事の稼働状況



12月議会で再質問する三沢県議

況を、契約額5百万円以上の工事のみですと、4月から6月までの第4半期の月平均稼働件数は、平成28年度486件、平成29年度655件となっており、毎年度月平均稼働件数は増加しているところ。

今後とも、適正な工期を確保することなどにより、公共事業の施工時期の平準化に努めてまいります。

三沢議員 県土整備部における第4半期の稼働金額の状況はどうか。

県土整備部長 県土整備部における第4半期の月平均稼働金額は、現時点の請負金額と工期で集計したもので約37億6千万円、平成29年度が約39億9千万円、

道路整備と安全対策

三沢議員 富津館山道路の暫定2車線の安全対策の取り組み状況はどうか。

県土整備部長 富津館山道路では、本年10月、東日本高速道路会社により正面衝突事故防止対策として、鋸南保田インターチェンジから富浦インターチェンジ間の一部区間において、ラバーポールに代え、飛び出し防止性能についての信頼性の高いワイヤーロープが設置されたところ。

県としては、暫定2車線区間において必要な安全対策が講じられるよう、引き続き、東日本高速道路会社に働きかけてまいります。

要望1 富津館山道路は、橋梁やトンネル区間が多い道路で、これらの

活性化を図るとともに、さら

富津館山道4車線化

三沢議員 富津館山道路の4車線化に向けて、どのように取り組んでいるのか。

県土整備部長 富津館山道路の交通量は、特に交通が集中する休日の夕方、上り車線の金谷第一トンネル付近などで渋滞が発生しています。このため、安全で円滑な交通を確保し、観光振興や地域

活性化を図るとともに、さら

区間でもラバーポールに代

要望2 富津館山道路と一体

となる館山鴨川道路が計

要望3 整備は、県と館山

市が一体となって取り組み、

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール

三沢議員 館山総合高校におけるスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校としての研究概要はどのようなものか。

澤川教育長 県立館山総合高校では、本年度から3年間、国からスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定を受け、家庭科における調理・保育・被服などの専門的な学びを生かして、コミュニティの再生、地域の課題を解決できる人材の育成に取り組んでいきます。

研究の一つに「まちカフェ」プロジェクトがあり、地域の賑わいを創る交流の場となるよう、さまざまな取り組みを行っています。具体的には、子供から高齢者まで幅広い年齢層を対象に、手遊びを取り入れた子育て交流会や親子料理教室、唐棧織など地域の伝統技術を伝える物づくり教室等を開催しています。

合わせて「なめろう」を使ったピザサンドについても、この「まちカフェ」で販売するとともに、文化祭などさまざまな場でPRし、学校の名物として広げていく予定だと伺っています。

権限の移管

三沢議員 館山港海岸の管理権限の移管について、市との協議の進捗状況はどうか。

県土整備部長 館山市が、県から管理委託されている駐車場を有料化するに

そのため現在、県と市は管理権限の移管に向け、対象とする海岸の範囲及びその利用計画について協議を行っているところ。今後も速やかに移管が進むよう、市と協議を進めてまいります。

安房地域の道路整備で要望!

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県議事務所

〒294-0037 館山市長須賀470-1
TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052